

【CPDプログラム自己申請における審査基準】

■ 「建築と積算」認定記事申請における留意点

1) プログラム欄に記入する項目

- ・ 購読雑誌名 建築と積算
- ・ 何年何月号 (例: 2016年新春号)
- ・ 正確な認定記事名 (全文)
(ホームページ・ページ認定記事一覧参照)

2) 主催者は (公社) 日本建築積算協会

3) 研修時間は 1 時間

4) 取得単位: 1 単位 / 1 記事

5) 同一記事の再申請は不可 (二重申請)

● 「認定記事以外の自己申請」における留意点

—継続能力開発(CPD)制度細則CPDプログラム認定方針—より

【否認とする主な内容】

- (1) 懇親やレクリエーションを目的とするもの。
- (2) 別表1に当てはまらないもの。
- (3) 特定の商品、材料、コンピュータソフト等の宣伝・販売等を目的とするもの。
(ただし、前述の部分を除いた、CPDの目的に適合する内容についての時間に限り承認することができる。)
- (4) マナー等の社会人教育と判断されるもの。
- (5) その他、本会CPD制度の目的にそぐわないと判断されたもの。
- (6) 研修が午前から午後にまたがった場合は、昼の休憩時間は除く